

生まれかわった田 むかしは、田を平らにするのがたいへんむずか  
 しかったので、土地の高さに合わせてつくりました。それで、田の形  
 や大きさがちがうため、仕事がしにくく、大型機械がたきかいを使えない田が多  
 くありました。

町では、仕事のしやすい田をつくるため、1983年（昭和58年）ごろ  
 から「ほ場整備」の計画けいかくを立てました。むかしの田は、機械を使って  
 30アール・60アール・1ヘクタールという大きな長方形の田につくり  
 かえられました。まだ、ほ場整備中の田もありますが、広々とした田ひろびろ  
 には、用水路やトラックの通れる道路もつくられ、仕事がとてもしや  
 すくなりました。しかし、ほ場整備後のことを心配する農家の人びと  
 も少なくありません。

④ むかしの田（長田地区）



④ 大型機械を使って田をつくりなおしている



④ 生まれかわった田



ほ場整備

事務所長さん  
 のお話



今まで10アールで75  
 時間かかっていた仕事  
 が広がったために、と  
 てもし仕事がしやすくな  
 り、33時間で済みます。

このように、ほ場整  
 備をすれば、米づくり  
 にかかる時間が少なく  
 て済みます。